

相変わらず減らない、ブレーキとアクセルを踏み間違えることによる事故。なぜ起こるのか？そして、対策は？

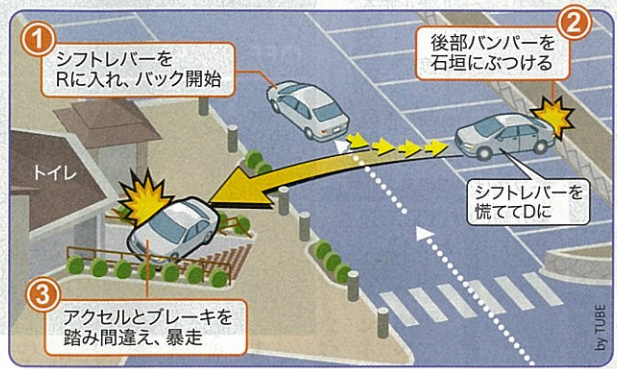
# パニック急発進！なぜ？

**ア** クセルとブレーキを踏み間違えた

新聞やテレビのニュースなどで何度このセリフを目にした耳にしたことだろう。(財)交通事故総合分析センターのデータによれば、このアクセルとブレーキの踏み間違えに起因する事故は、平成20年の1年間で約6600件発生し、約9600人の死傷者を出している。

「高齢になるとそんな人も出てくるんだな」  
「運転が下手な女性ドライバーの事故だろう」

このように他人事と考えているドライバーも少なくないだろうが、それは勝手な想像でしかない。平成20年の踏み間違え事故を年齢層別に見た場合、10代と20代の若者が全体の約26%を占め、男女比は各年齢層で男性のほうが多く、高齢になるほどその差が大きくなっている。毎日、日本のどこかで約18件発生している踏み間違えによる人身事故。物損



事故はさらに多いはずであり、これはもう他人事ではないのである。

昨年2月の第三日曜日の昼下がり、静岡県伊豆半島の峠道を1台の普通乗用車が走っていた。下田方面に向けてドライブを楽しんでいた同県掛川市在住の50歳代夫婦は、急カー



※写真はイメージです。

キとアクセルの踏み間違えによる事故の多くは、今回の事故同様に「まづ何らかの慌てるきっかけがあり、そこから生まれたパニック状態が踏み間違えにつながる」といわれる。

「人間は片足だけを突っ張るのは難しく、左足で急ブレーキを踏んだ場合、ふつう同時に右足でもアクセルを踏み込んでしまい、その結果、制動距離が伸びます。また、通常の走行でも、ブレーキの準備のため左足を浮かすと体が安定せず、コーナーリングなどでは危険です」(孤田氏)

「これは、踏み間違え事故が、急ブレーキを踏むつもりが誤ってアクセルを踏んで発生していることに着目し、アクセルが急ブレーキのように操作されたら、踏み間違えと判断してアクセルを利かなくするシステムだ」といいます。

## 基本

本来的な原理は、アクセルを踏み込むときの速さと操作量を検知し、通常のアクセル操作なのか、ブレーキと踏み間違えたものなのかを検出するというものです。誤操作をキャンセルしたらエンジンを強制的に停止またはアイドリング状態にし、誤発進を防ぎます」(同社営業本部・戸谷秀克氏)

取り付け時に、運転者本人が急ブレーキを踏む要領で何回かアクセルペダルを踏み、その踏み方を学習させることで、運転者個々に合わせたプログラミングを実現し、より高精度に誤作動を防止するという。本体価格8万円という金額には、不景気が続く現在、二の足を踏むドライバーが少なくないだろうが、踏み間違え事故の防止策としては、現実的で高い効果が期待できるシステムのひとつと言えるだろう。

最近ではブレーキを踏まないエンジンがかからない車が少なくないが、実はこれは発進前にブレーキの位置を体で覚えさせることにより、踏み



下のトイレに向かって、入口の下り階段を覆う鉄柵を突き破った暴走車は、頭から転落していった。

事故は起きた。人出の多い休日

の道の駅、しかもトイレ前に転落という大事故ではあったが、奇跡的にも暴走車と直に接触した歩行者はいなかった。階段付近にいた5人の歩行者が車に破壊された鉄柵等に巻き込まれ、1名が両膝骨折の重傷を負ってしまったが、残りの4名が打撲等の軽傷で済んだことは、車内の夫婦が無傷だったことも含め、不幸中の幸いだった。

「石垣との予想外の衝突で、とにかく前になければという意識が強くなったのか、慌ててシフトをDレンジに入れたときアクセルを強く踏み込んでしまったようです」(静岡県警交通企画課・諸田文彦課長補佐)



頻りにシフトチェンジをするときは、いまだに入っているのか、メーター内のインジケーターで確認するか、直接見て確認することが大切だ。

間違え防止につなげようとするものだという。踏み間違えというヒューマンエラーを防ぐためには、車の構造にかかわらず、常にブレーキを踏みながらエンジンをかけるという習慣を身につけることが大切だ。

また、発進時や駐車時はクリープをうまく使うことも有効だ。足をブレーキペダルの上に浮かせた状態で、アクセルを踏まずクリープで前進・後退をすれば、シフトの入れ間違えなどのミスも犯しても急発進することはないので、パニックになりにくい。さらに、慌てて足を突っ張ってもブレーキを踏むだけなので、事故にはならない。

そして、なによりもすべての操作を確実に落ち着いて行うことが心掛けたいものだ。

→「誤発進防止システム」に関するお問い合わせは、(株)サン自動車工業へ。☎03-3708-3333 <http://www.sun-auto.co.jp/>

文=山岸朋央 撮影=乾 晋也  
text by Tomoo Yamagishi photos by Shinya Inui

※本文に紹介した装置以外にも、アクセルとブレーキを一体化することで踏み間違え防止効果をねらったもの(ナルセペダル)などがある。  
©ナルセ機材(有) ☎0968-72-5211 <http://www.naruse-m.co.jp/>